

柏里小学校 PTA 講演会

親子で 取り組む 防災



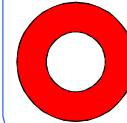
2016年11月11日 あおぞら財団
藤江徹/○谷内久美子



災害をどのようにとらえていますか？



災害を「まれに起こる不幸」と考える
↓
来ないでほしいとおびえ暮らすことに



災害を「生活の一部」として考える
↓
普段から備えることができる

2



避難とは？

“災害から命を守るための行動。”

“避難所への避難

“家屋内に留まって安全を確保することも「避難行動」



3





西淀川の過去の災害を知っていますか？

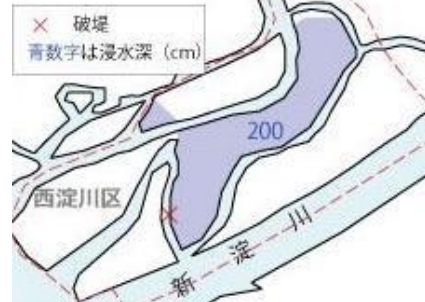
年月	災害	被害
1934年	室戸台風	台風により高潮襲来。区内全域浸水。死者・行方不明者243人
1950年	ジェーン台風	台風により高潮襲来。区内全域に浸水・死者・行方不明者58人
1961年	第2室戸台風	高潮で神崎川氾濫、大和田・出来島・御幣島地区等浸水。
1995年	阪神淡路大震災	液状化による不等沈下。家屋全壊43棟

5

1960.9.16
第二室戸台風
の経験談

西淀川区の過去の災害 第二室戸台風

第二室戸台風の浸水域



- 〓 1961年（昭和36年）9月16日
- 〓 西島川の堤防の決壊、神崎川の氾濫により大和田・出来島・御幣島が浸水。
- 〓 家屋の全半壊・流出500戸。
- 〓 干潮、満潮のたびに浸水を繰り返した。
- 〓 2週間近く浸水。



西島川の堤防の決壊現場

1960.9.16
第二室戸台風
の経験談

水害は避難が遅れがち

お年寄り、赤ちゃん、妊婦といった人ほど避難が遅れる
水害は音が静かで、気が付いた時にはもう水がそこに！



16

1960.9.16
第二室戸台風
の経験談

強風で前に進めない

風が強くて這うように移動。強風時には瓦も飛ぶ



1960.9.16
第二室戸台風
の経験談

浸水すると水に足がとられる

水が膝ぐらいまできていた中で、水に足がとられながら逃げた。
道に寝かしてあった電信柱やゴミ箱が水と一緒に追いかけてきて、とても怖かった。



〃 避難が困難になる水深
〃 小学校 5~6 年生 : 20cm以上
〃 成人男性で70cm、成人女性50cm

1960.9.16
第二室戸台風
の経験談

避難には助け合いが必要

市民が逃げ遅れた高齢者を救出



1960.9.16
第二室戸台風
の経験談

避難所では物資が足りない



1960.9.16
第二室戸台風
の経験談

指定避難所以外には配給が届かない

手製のイカダで屋根の上に孤立する被災者に
おにぎりを配給する自治会役員毎日新聞(昭和36年9月17日)



1960.9.16
第二室戸台風
の経験談

避難せずに自宅にいた人も



1960.9.16
第二室戸台風
の経験談

西淀川はなかなか水がひかない



1960.9.16
第二室戸台風
の経験談

浸水している時でも火事が起こる

「どうもこうもならん。
水攻め、火攻めや」
マッチの消しカスが塗料
に引火
消防隊が火事の現場に近
寄れず、消火活動にも時
間がかかる



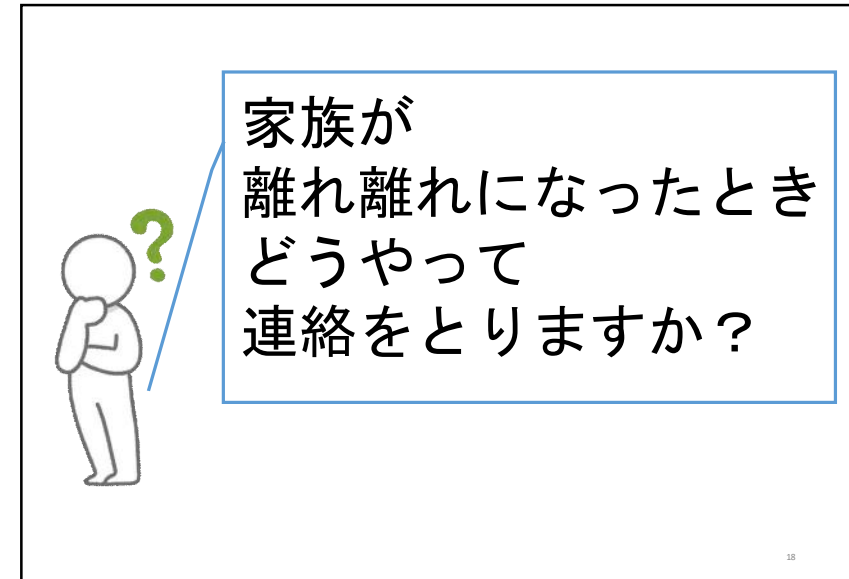
(産業経済新聞 (昭和36年9月18日) より)

1960.9.16
第二室戸台風
の経験談

水害後は、掃除が大変

“家財道具・電化製品は
泥だらけ
“水には様々なものが混
じっていた (下水、工
場からの油や化学物質
など)





18


出典：地震ITSUMO： <http://www.jishin-itsumo.com/>

19

出典：地震ITSUMO： <http://www.jishin-itsumo.com/>

家族で決めておく連絡のルール
あの手この手を知っておく

災害用伝言サービス




子どもは 家の 電話番号を おぼえていますか？


出典：地震ITSUMO：http://www.jishin-itsumo.com/

家族で決めておく連絡のルール
あの手この手を知っておく


災害用伝言サービス



災害用
伝言ダイヤル
171をダイヤル




災害用
伝言板サービス
各社携帯メニューから



災害用ブロード
バンド伝言板
(web171)
『web171』で検索

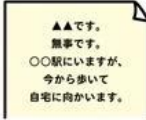
災害用伝言ダイヤル（NTT171）の確認

〳体験利用
〳毎月1日、15日



災害用伝言サービスの
登録先番号

約束した災害用伝言サービスの
登録先電話番号を書いておく。



〳〳です。
無事です。
〇〇駅にいますが、
今から歩いて
自宅に向かいます。


災害用伝言ダイヤルの
録音原稿

登録するときに慌てないよう
あらかじめ原稿を用意しておく。

出典：地震ITSUMO：http://www.jishin-itsumo.com/

家族で決めておく連絡のルール
あの手この手を知っておく

連絡の中継点となる知人・親戚を決めておく



〳災害時に連絡の取次をしてくれる人を決めておく

〳近所の人

〳遠隔地（安全な場所にいる可能性が高い）

出典：地震ITSUMO：http://www.jishin-itsumo.com/

家族で決めておく連絡のルール
あの手この手を知っておく

生活の中に防災を取りこみましょう①

〳地域の避難訓練への参加

〳近所づきあい

- 〳おたがいさま
- 〳被災時に子どものことを任せれる

〳家族の行き先の確認・居場所の確認



出典：地震ITSUMO：http://www.jishin-itsumo.com/

生活の中に防災を取りこみましょう②

- “家族での散歩、徒歩での買い物”
- “避難場所、津波避難ビル、避難経路の確認。”
- “危険箇所の把握や緊急時に利用できる施設の確認”

お休みの日に子どもと避難場所や津波避難ビルまで行ってみましょう！



生活の中に防災を取りこみましょう③

- “住居内の整理・整頓”
- “日常的に快適な生活が過ごせる”
- “落下物の防止や避難路確保”
- “食料・生活用品の備蓄”
- “西淀川は陸の孤島になりうる”
- “スーパーやコンビニに物が無い”
- “2週間分の食料の備蓄”
- “食べたらずいす”
- “不便な体験（キャンプなど）は被災時に生きる”



<http://www.nhk.or.jp/sonae/report/20120907.html>

自分の身を守ることは、他の人のことを助けることにも

26

生活の中に防災を取りこみましょう④

- “子どもと楽しみながら防災を学ぶ”
- “絵本”
- “アニメ”
- “ゲーム”



http://www.plus-arts.net/?page_id=1585



<http://tokyo-m8.com/>

まとめ

- “避難とは災害から命を守るための行動。”
- “過去の災害の記憶を伝えて、防災の当事者意識を持ちましょう。”
- “家族で日頃から災害について話し合いましょう。”
- “生活の中で防災に取りこみましょう。”

28